



新日鐵住金

株 主 の 皆 様 へ

2013

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2012年10月1日、新日本製鐵株式会社と住友金属工業株式会社は合併し、新日鐵住金株式会社が誕生しました。

このたびは、当社グループの経営方針や経営の概況をお伝えいたしたく、本冊子をお届けいたしますので、ご高覧賜りたく存じます。

今後も当社グループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

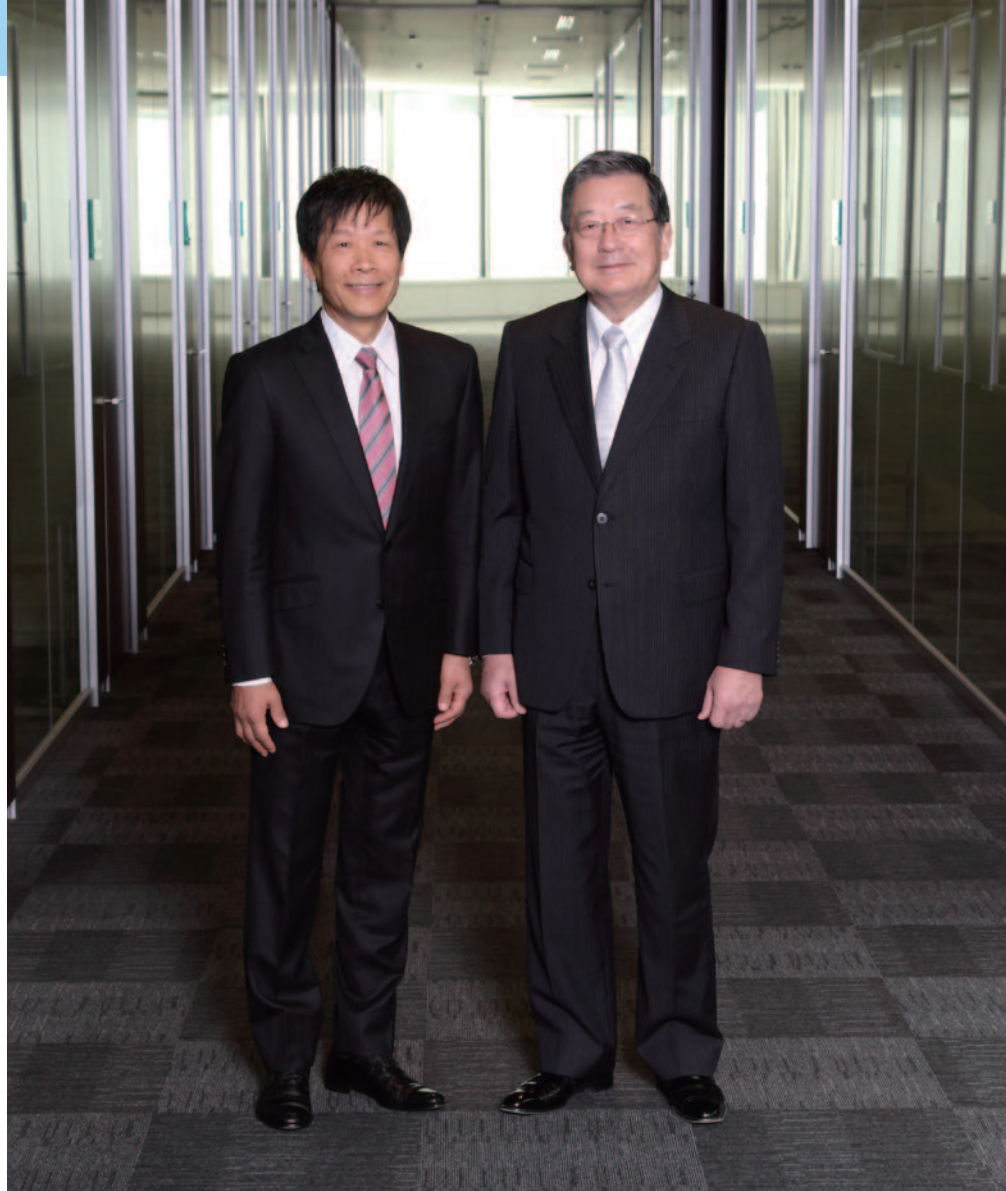
2013年3月
新日鐵住金株式会社



君津製鐵所

株主の皆様へ

株主の皆様の日ごろのご理解とご支援に、心からお礼申し上げます。当社は、昨年10月1日に統合新会社である新日鐵住金として新たなスタートを切り、旧新日本製鐵と旧住友金属の強みを結集して企業価値を高めるべく、日々邁進しています。



友野社長兼COO(左) 宗岡会長兼CEO(右)

当社を取り巻く経営環境は、 厳しい状況が続いています

世界経済は米国や新興国の緩やかな景気回復の兆しがあり、日本経済においても、行き過ぎた円高の修正などにより、一部で持ち直しの動きが

あります。このような経済情勢下ではありますが、当社は世界鉄鋼業の構造変化に直面し、厳しい経営環境が続いています。

すなわち、ここ数年の中国を中心とした各社の生産能力拡張が供給過剰を招いており、世界の大規模鉄鋼メー

カーは事業構造の抜本的見直しを余儀なくされています。国内においても、これまでの建設需要の減少に加えて、企業の海外移転が加速するとともに、現地調達化が大幅に進展しています。輸出マーケットの構造も大きく変化しています。従来、日本鉄鋼メーカーが市場の中心的地位を占めていた東南アジアマーケットにおいても、中国、韓国などの新興鉄鋼メーカーとの競争が激化しています。

当社は、この厳しい競争を勝ち抜いて長期的に成長するために、自らの構造改革を一刻も早く成し遂げてまいります。収益構造、財務構造、



生産構造などにおいて、旧両社の統合によって変えるべきものは徹底的に変え、他の追随を許さない成果を出すべく努力してまいります。

総力を結集して競争基盤を確立し、「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」を目指します

足もとの状況は厳しいですが、中長期的な視点にたてば、鉄鋼業は成長産業だと考えています。2007年に13億トンだった世界鋼材需要は2012年度で15億トンになっており、新興国の経済成長に伴い中長期的に今後も増加すると予想されています。そうしたなか、当社は、ものづくりの会社として、お客様や社会のニーズに応える製品を、誰にも負けないコストと品質で世界中に提供し、高い収益力をもつ「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」になることを目指します。そのために、当社グループは4つの施策を中核に据えて、総力を結集して迅速かつ全力で取り組み、競争基盤を確立いたします。

4つの施策の第1は、「**コスト競争力の強化**」です。新興鉄鋼メーカーとの競争を勝ち抜くことができるコストレベルを、早急に実現してまいります。第2は、「**技術先進性の発揮**」です。研究開発部門、製造現場、そして営業部門が一体となって、商品開発、製造、プロセス開発、省エネ・環境など、すべての技術で一段と高いレベルを実現してまいります。第3

は、「**鉄鋼事業のグローバル展開**」です。グローバルな生産・供給拠点の拡充に、着実に取り組んでまいります。第4は、「**製鉄以外の分野での事業基盤の強化**」です。各分野は事業の選択と集中により強みを発揮できる体制を整えつつあり、これをさらに強化してまいります。

統合新会社の 下期連結業績見通しと 当期末の配当方針 について

統合新会社発足後の下期の連結業績につきましては、統合効果の早期発揮に向けた取組みの強化などを行った結果、経常利益400億円、当期純利益350億円となる見通しです。

当期末の剰余金の配当につきましては、統合新会社発足後の下期の業績見通しおよび先行きの経営環境等を勘案し、1株につき1円(下期連結配当性向25%程度)とさせていただく方針といたしました。

(詳しくは3頁「業績概況 2013年2月14日公表」をご参照ください。)



名古屋製鐵所の次世代型コークス炉 (SCOPE21)



海外でも事業統合を進めています。
(タイの旧両社棒線二次加工会社を統合したNippon Steel & Sumikin Steel Processing (Thailand) Company Limited)

当社は現在、中期計画を鋭意検討中であり、別途公表する予定です。中期計画を、総力をあげてスピーディかつ着実に実行することにより、競争基盤を確立し、収益力を高めてまいります。

株主の皆様には、今後ともご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役会長兼 CEO
宗岡 正二

代表取締役社長兼 COO
友野 宏

業績概況

2013年2月14日公表

2012年度決算見通しおよび当期末配当方針について

事業環境について

世界経済は、欧州景気後退が継続する一方、減速していた中国および新興国経済成長には回復の動きもあり、足もとでは、持ち直しに向けた兆しがみられています。

また、国内景気は製造業を中心に弱含みで推移してきましたが、行き過ぎた円高の修正や海外経済の回復などにより、こちらも一部で改善の動きがあります。

製造業向けの減少により弱含みで推移してきた国内鉄鋼需要も、土木・建築分野向けは復興・防災関連に加え政策効果等もあり、来期に向けては増加が期待されます。また、アジア新興国を中心に拡大テンポが鈍化してきた鋼材輸出についても、今後は比較的堅調に推移すると見込まれます。

こうしたなか、鋼材市況については中国・韓国の鉄鋼メーカーによる高水準の生産もあり、需給は軟化し、市況が低迷しました。足もとでは鋼材国際市況は緩やかに反転していますが、全体としては、年央までの市況低迷影響が大きく、厳しい環境が続きました。

当期決算見通しと 当期末の配当方針について

こうした事業環境のなか、当社は、堅固な事業基盤を構築するための国内上工程の更新投資や、新たな成長に向けて海外事業の拡大を進めると同時に、年間1,300億円程度と最大限のコスト改善に加え、合併による統合効果の早期発揮も実行しております。しかしながら、鋼材市況の低迷などから、2012年度の決算見通しにつきましては、前年度に対し

て減益の経常利益600億円(旧両社単純合算では700億円)、当期純損失は、上期の特別損失の影響もあり1,400億円となる見通しです。

なお、統合新会社発足後の下期決算見通しにつきましては、統合効果の早期発揮に向けた取組みの強化などを行った結果、経常利益400億円、当期純利益350億円を見込んでおります。

当期末の剰余金の配当につきましては、統合新会社発足後の下期の業績見通し(下期当期純利益は350億円程度)および先行きの経営環境等を勘案し、1株につき1円(下期連結配当性向25%程度)とさせていただきます。

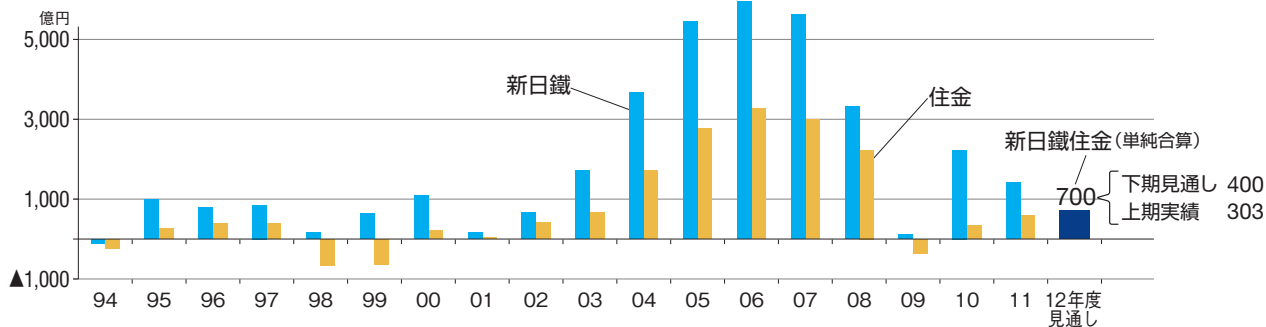
2012年度決算見通し

(単位：億円)

	年度見通し	上期実績	下期見通し		
			3Q実績	4Q見通し	新日鐵住金
経常利益 (単純合算)※	600 (700)	195 (303)	125	275	400
当期純損益	▲1,400	▲1,766	247	103	350
		住金			
経常利益		108			
当期純損益		▲1,338			

※単純合算 ① 上期実績：新日鐵上期+住金上期
② 年度見通し：上記①+新日鐵住金下期見通し

連結経常利益の長期推移



IRカレンダー

2013年3月	中期計画 公表予定
2013年5月上旬	2012年度(平成25年3月期) 決算発表および期末剰余金配当のご提案
2013年6月上旬	第89回 定時株主総会招集通知のご送付
2013年6月下旬	第89回 定時株主総会

第59回 大河内賞「大河内記念生産賞」をダブル受賞

我が国の生産工学・高度生産方式の実施等に関する顕著な業績を表彰する、伝統と権威のある大河内賞をダブル受賞しました。

「天然ガスの大幅増産を実現させる高合金油井管および製造技術の開発」

高温で厳しい腐食環境下に存在する天然ガス採掘に必要な高合金油井管について、中小径サイズの量産技術、一度に大量の天然ガス輸送が可能な大径サイズの製造技術、より過酷な条件に耐えうる超高強度新合金開発の3つの技術が評価されました。



過酷な環境に耐えうる高合金油井管

「石炭資源拡大を可能とする省エネルギー型コークス製造技術」

他社と共同開発した、安価な低品位炭の利用を極限まで高めつつ、性能の高いコークスを製造する技術が評価されました。2008年の大分製鐵所での初の実機導入に加え、今般、名古屋製鐵所に2基目を導入します。当技術の実機化は当社のみです。



大分製鐵所 新型コークス炉

新日鉄住金マテリアルズ 排ガス浄化用メタル担体 事業でアジア市場強化

新日鉄住金マテリアルズ(株)は、排ガス浄化用メタル担体製品の製造・販売を行う海外現地法人を、中国に続き、インドネシア・ジャカルタ近郊およびインド・チェンナイ市に設立しました。自動車・二輪車排ガス浄化用メタル担体をステンレス箔素材から一貫生産する世界唯一のメーカーとしてグローバル展開していきます。



メタル担体の採用事例

「Top100 グローバル・イノベーター2012」を受賞

2012 THOMSON REUTERS
TOP100
GLOBAL INNOVATORS

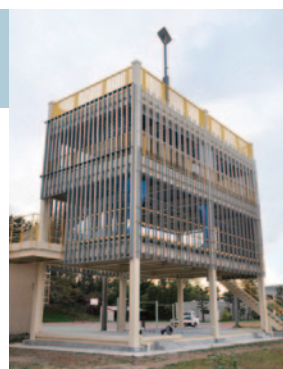
トムソン・ロイター社は、世界で最も革新的な研究開発活動と優れた知的財産活動を行う企業を選出し世界Top100社を表彰しています。世界のTop100社のうち日本企業は25社、鉄鋼を含む金属精錬業界からは世界で当社1社のみの受賞でした。



受賞トロフィー

日鉄住金建材 仙台市と津波避難施設の使用協定

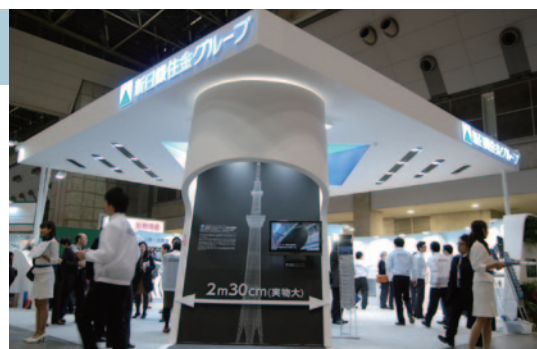
日鉄住金建材(株)と仙台市は2012年11月20日に協定を結び、同社仙台製造所敷地内にある津波避難タワーを、津波発生時の緊急一時避難場所として地域の皆様にもご使用いただけることといたしました。本協定は、仙台市海岸部の民間企業による、津波避難施設の住民への開放の第1号です。



エコプロダクツ2012に出展

当社グループは2012年12月13～15日、東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展示会「エコプロダクツ2012」に出展しました。当展示会には、小学生から大人まで、海外からも含め3日間累計で約18万人が来場。当社は、

エコプロセス、エコプロダクツ®、エコソリューションの「3つのエコ」を通じた、環境・エネルギーから防災まで幅広い取り組みを紹介し、多くの来場者の関心を集めました。



鋼づくりの現場探訪

当社の製鉄所は、北海道から九州まで全国に16ヵ所あり、それぞれの拠点で特徴ある製品がつくられています。100年以上の歴史を持つ拠点も多く、日本の近代化と経済発展、そして最先端のものづくりを支えてきました。今回は鉄道関連製品をつくっている北九州市の「八幡製鐵所軌条工場」と大阪市の「製鋼所」を紹介します。

当社のレールと車輪・台車で世界の鉄道の足もとを支えています。

真っ赤なレールが走る

1 八幡製鐵所軌条工場

北九州市にある八幡製鐵所は、1901年、官営製鉄所として操業を開始しました。現在、自動車・家電用鋼板や建材、スパイラル鋼管、軌条など、さまざまな製品をつくっています。

軌条工場で作られるレールは世界一の硬さと高い直線性を誇り、ライフサイクルコストに優れた製品です。



出荷を待つレール



レール圧延の様子

当社が開発した「ユニバーサル圧延機」により直線性に優れたレールが生まれます。レール工場は全長約780メートルもあります。



高荷重に耐えるレールが必要とされる鉱山鉄道

2

世界一の鍛造技術

製鋼所



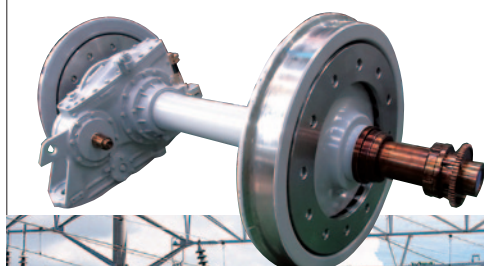
大阪市にある製鋼所は、1901年に「住友製鋼場」として創業し、1920年にタイヤ・車輪など鉄道車両部品の製造を開始しました。現在、車輪・車軸や鍛造クランクシャフトなど、鍛造技術を活かした製品をつくっています。

高品質の一体圧延車輪、車軸は新幹線をはじめとする国内鉄道車両はもちろん、台湾新幹線などの海外高速鉄道にも採用されています。

また、自動車用部品等も多数製造しており、エンジンの重要部品である鍛造クランクシャフトは日本一のシェアです。



車輪圧延の様子



採用事例 東海道新幹線 N700A「のぞみ」 © 東海旅客鉄道株式会社



新幹線(左)と路面電車(右)の台車

お知らせ

当社ホームページにおいても、両工場を紹介しています。

URL <http://www.nssmc.com/company/publications/quarterly-nssmc/2013.html/>

新日鐵住金グループ企業理念

基本理念

新日鐵住金グループは、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、優れた製品・サービスの提供を通じて、社会の発展に貢献します。

経営理念

1. 信用・信頼を大切にするグループであり続けます。
2. 社会に役立つ製品・サービスを提供し、お客様とともに発展します。
3. 常に世界最高の技術とものづくりの力を追求します。
4. 変化を先取りし、自らの変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。
5. 人を育て活かし、活力溢れるグループを築きます。

株主様へのご優待について

当社は、見学会・説明会をはじめ、各種ご優待を実施いたします。
詳細につきましては、対象の株主様に別途ご案内申し上げます。

○見学会・説明会

項 目	内 容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象
工場見学会へのご招待(抽選)	製鉄所、製造所の見学にご招待いたします。 (年に2回(春と秋)、各回4～5カ所の製鉄所・製造所で開催しますので、その中から1カ所を選択してご応募いただけます。)	年2回ご案内 (注) (3～4月頃、 10～11月頃)	9月末・3月末における 10,000株以上 保有の株主様 (ただし、ご案内対象範囲については拡大を検討してまいります。)
経営概況説明会へのご招待(抽選)	東京・大阪をはじめ、各地で開催いたします。	年2回ご案内 (7～9月頃、 2～3月頃)	

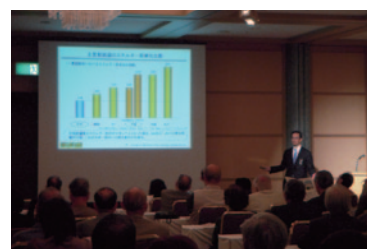


(工場見学会)
鉄が造られていく様子を
間近でご覧いただけます。

(注) 工場見学会については、本年秋(10～11月頃)開催分よりご案内いたします。

○各種ご優待

項 目	内 容	ご案内回数 (実施時期)	ご案内対象
鹿島アントラーズ観戦ご招待(抽選)	J1リーグ戦(ホームゲームまたはアウェイゲーム)にご招待いたします。	年2回ご案内 (4～8月頃、 8～12月頃)	9月末・3月末における 5,000株以上 保有の株主様
当社カレンダーのご送付	当社カレンダーをご送付いたします。	年1回ご送付 (11月下旬～ 12月上旬)	9月末における 7,000株以上 保有の株主様
紀尾井ホール演奏会へのご招待(抽選)	「紀尾井シンフォニエッタ東京」の定期演奏会をはじめとした各種演奏会にご招待いたします。	年2回ご案内 (4～7月頃、 9～3月頃)	9月末・3月末における 50,000株以上 保有の株主様



(経営概況説明会)
役員より、当社の経営戦略を
ご説明いたします。

株式に関する手続き

株主名簿管理人事務取扱所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (電話照会先) 当社株主様専用ダイヤル 0120-785-401(フリーダイヤル) 株主名簿管理人代表電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
住所変更、単元未満株式の買取り・買増しのお申出先	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 (証券会社の口座で株式を管理していらない場合は、三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)
未払配当金の支払いのお申出先	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



新日鐵住金

新日鐵住金株式会社

〒100-8071 東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
TEL: 03-6867-4111(代表)
ホームページアドレス: <http://www.nssmc.com/>